

今月のテーマ
フランシスコ法王



田上市長の
恋とトコ

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

特集

市民

市政

「ご意見」
プレゼント

生活情報

健康

子育て

福祉

被爆者援護

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

11月24日にフランシスコ法王が長崎にお見えになりました。前回、ヨハネ・パウロ二世が長崎に来られたのは38年前のこと。昭和56年2月の大雪の日のミサの様子を覚えている人も多いと思います。さて、今回はどんな訪問になるのでしょうか。

* * *

フランシスコ法王はアルゼンチン出身です。平成16年から12年半、長崎で二十六聖人記念館の館長を務められたレンゾ神父は、アルゼンチンの神学校時代の教え子。そのご縁で、レンゾ神父はこれまでに何度も法王に長崎訪問を勧めてくれました。今はイエス会日本管区長を務めておられますが、法王と長崎の間にご縁をつくってくれたかたの一人です。



© Vatican Media Foto

昨年5月、バチカンを訪れて法王の一般謁見に参列

これはフランシスコ法王の平和と核兵器廃絶への強い思いを表すもので、バチカンは核兵器禁止条約についてもいち早く批准を済ませていました。

こういつつながらを知るたびに、法王と長崎の間に何か通じるものがあるような気がして、親しみを感じます。

そのフランシスコ法王と、昨年5月にバチカンでお会いすることができました。大勢の人々が巡礼に訪れるサンピエトロ広場で、集まった数千人の人々に丁寧に時間をかけて接しておられる姿が、とても印象的でした。

私の前に立つてくださった時、長崎を訪問してくださいるようお願いしました。私は、ま

るで存在をまるごと包み込んでくれるような、大きな包容力を感じました。ほんの数分間の出来事でしたが、必ず長崎においてくださるという確信を持ちました。

* * *

キリスト教が厳しく弾圧されていた江戸時代初めから明治初めまでの250年ほどの間、命の危険と隣り合わせの中で信仰を守り続けた人たちが、長崎には大勢いました。そして、実際に命を落とした人たちも大勢いました。そのまちに法王が来られます。歴史的な一日になると思います。

昨年、世界文化遺産に認定された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の価値と意味について、広く知っていただく機会になるとともに、爆心地公園で述べられる平和のメッセージは世界に届くことでしょう。

私たち長崎市民にとつては、長崎が世界につながっていることを強く感じる一日になります。

フランシスコ法王と、法王の長崎訪問に力を尽くしてくださった皆さんに心から感謝します。

周辺地図



出かけて見る・知るまちのオススメスポット



歴史に出会える
深堀貝塚遺跡
資料館

深堀バス停から徒歩3分、深堀地域センターの隣にある深堀貝塚遺跡資料館。長崎港の入り口に位置する深堀では、古くから海と関わりの深い生活が営まれてきました。深堀川河口部にある深堀遺跡からは、縄文時代前期から近世に至るまでのさまざまな遺物が出土しています。

資料館では、遺跡から出土した土器や石器、陶磁器などを展示しているほか、遺跡の発掘から出土品の取り扱いなどをパネルで紹介しています。屋外では古墳時代の箱式石棺も見ることが出来ます。

先人たちの足跡を訪ねてみてはいかがでしょうか。